



聚樂秘藏  
六

~ 13  
3326  
6



全儀榮

吾樂秘藏法卷之六

目錄

書後 大念を揮をゆるす

并 松浦乃乃部品知の事

全儀榮



大正十八年九月  
本大學出版部 贈

門 へ 13  
 3325  
 卷 6

石



石川五右衛門

石川五右衛門傳

忠義の心を傳へたる事

其松竹の如く節節の事

石川五右衛門の事  
 大膽なる事  
 忠義の心を傳へたる事  
 其松竹の如く節節の事  
 石川五右衛門の事  
 大膽なる事  
 忠義の心を傳へたる事  
 其松竹の如く節節の事

孝親の好くしつゝもていふに  
なほ國の事

支國の事  
いふに  
いふに  
いふに

業を  
只  
の事

切  
いふに  
いふに

石  
いふに  
いふに

終  
いふに  
いふに

か  
いふに  
いふに

忽ち命を失ふ  
いふに  
いふに  
いふに

押  
いふに  
いふに  
いふに

虚  
いふに  
いふに  
いふに

いふに  
いふに  
いふに

いふに  
いふに  
いふに

いふに  
いふに  
いふに

いふに  
いふに  
いふに

成れば自ら自由なる事  
内規今の事  
大層難事の方  
有るは  
誰か及痛  
争ひ  
の事

抑も兼て  
之極  
あり  
用  
ま  
何  
を



あひまふは端は付く病に合  
係り又はゆかた部を方人  
前を居るのこゝに一  
の者たか居るを早に  
せよ親ゆかたの  
下奇物なる金貨と  
悉く係りて教く  
尚く  
得るは依り  
長年より  
古来の  
改修  
志  
従ふ同  
病

軍印よりいへる各の命より候へ但別  
田原の城よりいへる但もも一は名より  
三方名の所よりいへる去りた基  
内務あり一者所より考へるの以所へ  
此所よりいへる所より通へる所より  
上よりいへる日あり一書ありの所より  
忠勤よりいへる命よりいへるは書あり

め一宛葉の権よりいへる若り  
中よりいへる人よりいへる一書あり  
但ももも愛よりいへる一書あり  
身徳よりいへる命よりいへる一書あり  
目よりいへる信よりいへる命よりいへる一書あり  
一書あり一書あり一書あり一書あり  
但ももも命よりいへる一書あり







あうらむ〜縁の御守り

港に灯を〜あつらふ

道に舟を〜おとす

〜舟の御守り

〜あつらふ

池の底を〜あつらふ

〜舟の御守り

河の底を〜あつらふ

〜舟の御守り

〜あつらふ

〜あつらふ

〜あつらふ

〜あつらふ

〜あつらふ







歩ののやふぬ老人の借個の  
 多き中中汁のありんといふ殿の  
 大の井のやんこへ海きいふとちうり  
 りりゆりよ事要きまのの役をどね  
 川りよ鏡葉確六の役名の役は有り  
 せし首尾のししゆりり左助殿の  
 役をいふやんりり島の子殿  
 在りしゆりり島の子殿  
 松のの役をいふ早く打之田に成  
 高りしと高きものた事要ハたし  
 高きゆりり島の子殿の役は有り  
 所りゆりり松のの役をいふ早き  
 奇妙ゆりり高きものた事要ハたし  
 高きゆりり島の子殿の役は有り

一箇中の者たあまをいふ

海<sup>157</sup>のきんこくをいふにきんこくは海に

しるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

と云ふはしるすべしと云ふは昔の事なりけり

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは

御座ると申さるは  
御座ると申さるは



~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~の~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ

まゝにせむしむらひのうらむらひ







くまらげ首と落 戒めさる  
御のほのほのひ油は  
ゆけさる 徳のさる  
より押さる ちのさる 成と推  
素のさる 神のさる 海と押さる  
あちさる ちのさる 徳のさる 成  
とは誰さる 海と押さる 行者とさる  
とららる 徳のさる 日所とさる  
とらさる 徳のさる 切とさる  
けさる 徳のさる 徳のさる  
居さる 徳のさる 徳のさる  
りのさる 徳のさる 徳のさる  
とらさる 徳のさる 徳のさる  
事とさる 徳のさる 徳のさる

くまらげ首と落 戒めさる  
御のほのほのひ油は  
ゆけさる 徳のさる  
より押さる ちのさる 成と推  
素のさる 神のさる 海と押さる  
あちさる ちのさる 徳のさる 成  
とは誰さる 海と押さる 行者とさる  
とららる 徳のさる 日所とさる  
とらさる 徳のさる 切とさる  
けさる 徳のさる 徳のさる  
居さる 徳のさる 徳のさる  
りのさる 徳のさる 徳のさる  
とらさる 徳のさる 徳のさる  
事とさる 徳のさる 徳のさる



